

令和3年度 町政執行方針

我が国は新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで経験したことのない危機に直面しています。

このような状況のなか、国は感染拡大防止と社会活動の両立を図りながら、経済を内需主導で成長軌道に戻すとともに、感染拡大により浮き彫りとなった課題やリスクを克服し「新たな日常」を通じた質の高い経済社会の実現をめざす取り組みを推進しています。

町では地方税収など自主財源の大きな伸びが見込めないなか、全収入の約4分の3が依存財源という、柔軟性に乏しい財政構造となっています。自立した地域を維持するための継続的な財政需要、さらに、町立病院の建設などの大きな公共投資も予定されており、中長期的な見通しに基づき財政運営により、活力あるまちづくりと自治体経営の安定化の両立を図ります。

町民の皆さまが「かみふらの」に愛着を持ち、夢と希望に満ちたまちづくりを進めていくことが何よりも大切であると感じ、第6次上富良野町総合計画に基づき「活力あるまちづくり魅力あるまちづくり 持続可能なまちづくり」を念頭に、緊急性や優先性などを考慮し、予算編成を行いました。

きれいで安全・安心な生活環境のまち

日の出公園については、来園する皆さまが安全で快適に利用いただけるよう、キャンプ場の「テージ」とエントランスゾーンの改修のほか、新たな駐車場を整備します。

各種防災への対応では、本年度から防災行政無線のデジタル化工事を着手するとともに、円滑な避難所運営に資するよう、防災備蓄品・資機材の計画的な整備を行い、災害に強いまちをめざします。

みんなが元気になる健康・福祉のまち

健康・福祉のまち

保健・医療については「健康づくり推進のまち」宣言の理念のもと、生活習慣病の発症・重症化予防を重点課題に各種健診、保健事業を推進し、一人ひとりが自ら健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、国の指示のもと着

実に接種が進むよう体制を整えます。

町立病院については慢性期の医療・介護ニーズの増加に 대응するため、介護医療院4床の増床を図ります。老朽化に伴う施設の改築については、昨年度まとめた基本計画に基づき、令和7年度までの竣工に向けて基本設計を進めます。

子どもセンターについては、町立病院の改築に伴い、解体が予定されていることから、発達支援事業所や子育て支援拠点事業などの将来像を含め、施設の確保、整備の在り方を本年度中にまとめます。

活力と交流あふれる産業のまち

産業のまち

農林業では、第8次農業振興計画に基づき、農業者や農業委員をはじめ、関係機関との連携を図りながら、基幹産業として力強く持続性の高い農業の確立に向けて取り組みます。

商工業では、コロナ禍で影響を受けた事業活動の回復・活性化など、町内事業所の活動が持続的、円滑に行われるよう、持続化補助事業のほか、新規開業等支援事業、町融資制度による支援を進めます。

新たな魅力づくりの取り組みとして、ロケサポートを推進し、地域活性化企業人を採用します。そのノウハウや知見を生かし、地域ブランドや知名度の向上、映画「泥流地帯」の円滑な

制作を図ります。

十勝岳シオパーク構想については、本年度の日本シオパークネットワーク正規会員認定をめざします。

発展を支える生活基盤が整ったまち

生活基盤が整ったまち

情報化については、昨年度から実施している高度無線環境整備事業により、町内全域に光ファイバー通信網の整備を進め、町全体の情報通信環境の向上を図ります。

定住移住の促進では、奨学金返還支援補助制度を創設し、地域産業を支える中小事業者等の人材確保、定住促進に取り組み、活力ある地域の形成を図ります。

ともに生き、ともにつくるまち

ともにつくるまち

「いながら意識」の醸成、「地域活動に参加する意識」の浸透を図るとともに、住民自治活動推進交付金の運用を通じて、地域団体の自主的な活動を支援します。

自衛隊との共生については、上富良野駐屯地の現状規模堅持、さらなる拡充に向けて要望活動を進めます。

新たな過疎地域自立促進特別措置法において、過疎地域としての要件を満たすことが見込まれることから、自主自立の地域づくりを進めるため、過疎地域自立促進計画の策定を行います。



演壇 齊藤 繁 町長



令和3年度 教育行政執行方針



人工知能やビッグデータ、IoTなどの技術革新が急速に進展するなか、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に向けた「新しい生活様式」により、社会や個人の価値観が一変することも多様化しました。デジタル化中心へとライフスタイルが大きな変化をしていくにつれ、地域社会におけるつながりや支え合いの希薄化が懸念されます。

こうした状況から、郷土の歴史や文化に誇りをもち、地域の発展を支える人材を担う教育の役割は、ますます重要となります。

教育委員会では、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の徹底に努め、「上富良野町教育振興基本計画」「上富良野町教育大綱」の教育理念「ふるさとに学び 人が輝き 人がつながる かみふらのの教育」の実現をめざし、教育行政の推進に努めます。

学校教育の推進

学校教育では「学校の新しい生活様式」に基づいた学校運営」「ICT教育の推進」「中学校の新学習指導要領完全実施への対応と小中連携教育の推進」を学校教育推進の3本柱として設定。3本柱に関わる具体的施策を最重点として取り組み、学びの保障の実現を図ります。

児童一人ひとりにタブレットを整備したことにより、児童の発達段階に合わせながら、対面授業とオンライン授業などを有効に組み合わせ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めます。

児童生徒のICT機器の操作のスキル向上、情報モラル教育の充実を図るとともに、教員のICT活用スキルや授業力向上に努めます。

不登校の状況については抱える課題の多様化により、人数・不登校日数の増加傾向が続いています。臨床心理士を中心に、カウンセリングや保護者の相談体制の充実を図るとともに、保護者・学校が連携して取り組む体制を整えて行きます。不登校や不登校傾向の児童生徒の学びを保障していくため、遠隔・オンラインでの日常的な授業の配信、録画による二授業の配信などの体制づくりに着手します。

特別支援教育では、インクルーシブ教育の理念を大切に一人ひとりに

応じた特別支援教育の推進に向け、早期の教育支援体制、保護者との合意形成を大切にされた教育相談の充実を図ります。通級指導教室の効率的な運営に向け、指導資料の整備や指導力向上の研究会への参加を進めるほか、小学校から中学校での学びをつなぎ、指導の個別化を図るため、中学校にも通級指導教室を開設します。

教育環境の整備等では、上富良野小学校と上富良野西小学校の普通教室に大型モニターを設置し、ICT教育環境の整備を図るほか、上富良野小学校スクールバンドの楽器を更新します。



タブレットを活用した授業の様子

社会教育の推進

町民一人ひとりに生涯にわたって主体的に学ぶ機会を提供し、町社会教育基本方針と第9次社会教育中期計画に基づき、家庭・学校・地域社会それぞれが持つ教育機能の充実と連携・融合

を進めます。

家庭と地域の教育力向上では、子どもたちの人格形成に必要な「基本的生活習慣」と「調和のとれた心身」を育むことが教育の原点であることから、早寝・早起き・朝ごはん運動や生活リズムチェックシートを活用し、食事や睡眠などの大切さの理解を深めます。

生涯学習活動の推進では、三重県津市に小学4～6年生を青少年国内交流事業として派遣するほか、海外での生活文化体験や語学研修を行い、グローバル化や価値観の多様化に対応していく人材を育成するため、中学生・高校生を対象に海外派遣事業を行います。

図書館の運営では「子育て支援・家庭教育コーナー」の関係図書の実用を図り、子育て支援と家庭の教育力の向上を進めるほか、読み聞かせ室に世界の童話を集め、子育て世代が気軽に利用できる図書館づくりに努めます。

社会教育の基盤整備では、昨年度に引き続き、富原運動公園テニスコートの改修を行い、安全で安心して利用できる環境づくりに努めます。



図書館の子育て支援・家庭教育コーナー

ここに掲載しているのは抜粋です。全文は町ホームページをご覧ください

